

木曜教室 ランチパーティー

7月19日に木曜教室恒例のランチパーティーが行われました。例年のない猛暑の中を、日本語教室に通い続けた受講生とボランティアが、互いに頑張ったご褒美に、それぞれの一品を持ち寄って楽しいランチパーティーを行いました。



母国の自慢の家庭料理が並び、テーブルを囲んでレシピを交換したり、料理の味の感想を語ったり、教室が分かれているのでなかなか話す機会がなかった人たちと、同級生として、学習する教室のときは全く違う雰囲気の中で交流を楽しみました。

12月20日木曜日、2学期最後の教室が終わったあと恒例のランチパーティーが行われました。参加者は受講生、ボランティア、それに子供もいれて45名くらいでした。斎藤会長の“もったいない”ことにならないようにしようという挨拶のあと食事と交流が始まりました。テーブルの上には参加者の皆さんが持ち寄った自家製と思われるひじき、ち



くわ、里芋、こんにゃくなどの和風のものや焼きそば、のりまき、サンドイッチなどのほか季節の果物、プリンやケーキも並んでにぎやかな雰囲気でした。

普段はほとんど話をする事が出来ない受講生同士、ボランティアの方々が片手に自分の名前を書いたコップを持って話をしたり、一緒に食べたりして交流しました。12時15分頃、料理もほぼきれいに完食して、箸、皿などのゴミは用意された袋に入れて各自持ち帰りとなりました。

3月21日、都心ではソメイヨシノの開花が宣言されましたが柴崎近辺の桜はまだつぼみの状態でした。2018年度の最後の学習会とスピーチ大会が終わったあとに恒例のランチパーティーが開かれました。机の上には春らしく桜もち、お赤飯、ちらしずしなどのほか参加者お手製の珍しい食べ物も並びました。お彼岸の中日で祝日だったこともあってか参加者は少し少な目で35人程でしたが、学習者、ボランティアの人たちが一堂に会して会話をしながら和やかなひと時を過ごしました。

